

News Release

2018年3月6日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2018 年 2 月 27 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF の農薬事業本部、今後発売が予定される製品の総売上高が 35 億ユーロにのぼる見通し

- 殺菌剤、殺虫剤、除草剤のすべての分野で製品候補の開発が進行中
- イノベーションと強力なパートナーシップへの継続的な投資が成長を後押し

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)はこの度、農薬事業本部が 2027 年までに発売を予定している製品の総売上高が 35 億ユーロにのぼる見通しであることを発表しました。殺菌剤、殺虫剤、除草剤のすべての分野について新製品の開発が進行しています。現在、殺菌剤 Revysol[®](レヴィソル)や殺虫剤 Inscalix[®](インスカリス[®])などの主要テクノロジーが各国で登録出願中です。2017 年、BASF は農薬事業本部の研究開発に 5 億 700 万ユーロを投資しました。イノベーションへの継続的な投資により、農薬にとどまらず生物学的ソリューションやデジタルツール、デジタルデバイスなども含め、ポートフォリオを拡充していく予定です。

BASF 農薬事業本部プレジデントを務めるマルクス・ヘルドは次のように述べています。「当社のパイプラインでは様々な進展があり、市場への投入を視野に入れていきます。農作物管理、害虫防除を向上させるため、私たちは提供製品を拡充して、世界中の生産者により総合的なソリューションを提供していきます。バイエル社から取得を予定している種子、形質の研究開発の技術が、関連市場や主要作物における当社のイノベーションの可能性をさらに強化するでしょう。また、当社独自の形質の発見研究において、直接的な市場アクセスも提供してくれることになるでしょう。」

今後注目の主なイノベーション:

- BASF は**最新の殺菌剤 Revysol®**の投入準備を進めており、殺菌剤のイノベーションにおけるリーダーとしての地位がさらに強化されることとなります。優れた生物学的特性を備えた初のイソプロパノール-アゾールは、新たなレベルの病害防除を可能にし、穀物や大豆、とうもろこし、果実、野菜など主要作物での抵抗性を管理するうえで重要なツールとなります。Revysol® は作物の生命力を高め、安定させるため、高い収量および品質を実現するのに役立ちます。また、芝生管理や種子処理の市場においても新たな選択肢となります。規制当局の承認を経て、2019年に市場導入を予定しています。
- BASF は長きにわたり、農業従事者の皆さんに最新の除草剤を提供してきました。2018年に規制当局に書類提出を行う準備を進めている**新たな除草剤が2種類**あるほか、さらに2つ、初期発見段階にある除草剤もあります。最初の2種類の除草剤は、抵抗性のあるイネ科雑草の防除のために特別に開発されました。一つは主にブラックグラス、もう一つは主要なイネ科雑草や広葉雑草に用いられ、世界各地の農業従事者が効果的な雑草管理ソリューションを継続的に利用できるようにします。
- また、BASF は除草剤耐性や雑草耐性管理テクノロジーによって、除草剤製品群の拡充を継続しています。**新たに登場した Provisia™**(プロビジア)ライシステムは、コメにおける雑草防除を強化します。このシステムは米国で2018年のシーズンに販売を開始する予定です。Provisia™はコメ生産者の皆さんに、幅広いイネ科雑草の出芽後防除用の新たなツールを提供します。
- 害虫防除を向上させるため、BASF はユニークな作用機構を示す新たな化合物で、殺虫剤ポートフォリオを拡充します。現在最も開発が進んでいるものが**Inscalis®**です。日本の Meiji Seika ファルマ株式会社と共同開発を行った新たな化合物であり、主要な吸汁性害虫から幅広い作物を保護するうえで必要不可欠となるツールを提供します。最初の Inscalis®を使用した製品は規制当局の承認を経て、2018年に世界各国で販売を開始する予定です。
- もう一つ新たに日本の三井化学アグロ株式会社と共同開発した殺虫剤が、**Broflanilide**(ブロフラニリド)です。新規作用機構(IRACのグループ30)を備え、

園芸作物や畑作物につく甲虫類や毛虫類など咀嚼性害虫の防除に役立ちます。Broflanilide は種子処理の用途にも使用できます。害虫防除市場における、アリやゴキブリ、ハエの防除においても重要なテクノロジーとなるでしょう。Broflanilide は 2020 年に主要な地域で販売を開始する予定です。

- BASF の有効成分の可能性は、従来の作物保護をはるかに超えています。公衆衛生における実例としては、**革新的なマラリア対策として殺虫剤のクロルフェナピルが初めて使用される**ことが挙げられます。BASF は殺虫剤で処理され、長年にわたり使用可能な防虫処理蚊帳、Interceptor®(インターセプター)の新世代商品となる Interceptor® G2 と、家の壁や天井に散布できる室内残効性スプレー、Sylando®(シランド) 240SC の基盤となる有効成分の製剤化に成功しました。2017 年に Interceptor® G2 は、世界保健機関(WHO)の殺虫剤評価スキームで国際安全基準を満たしていることが確認されました。Sylando® 240SC に関しては、現在 WHO で評価が行われています。
- 生物学的ソリューションへの需要増大に対応するため、BASF は今後 10 年にわたり主要地域に、生物殺虫剤である **Velifer®(ベリファー)**などのイノベーションを導入する計画です。Velifer®は標的とする害虫に対して幅広く効果を発揮し、温室でも田畑でも、総合的病害虫管理(Integrated Pest Management, IPM)に使用することができます。BASF は、主要な土壌伝染病から苗や植物の保護を強化するために、農業用途として設計された**種子処理用生物殺菌剤、Velondis®(ベロンディス)**の市場導入を進めています。
- 窒素安定剤への需要も増大が続いており、尿素分解阻害剤である **Limus®(リムス)**が欧州および南米で販売を開始する予定です。
- 農業生産者が当社の農薬製品について農学的な意思決定を行うことをサポートするために、BASF はデジタルイノベーションの開発も進めています。その一例が、**Maglis®(マグリス)**ブランドです。このブランドのもと、BASF は農業従事者や販売パートナーの皆さん、BASF の世界各地の販売部門に対し、様々なデジタルツールを提供しています。2018 年には複数のツールを導入予定です。
 - **Maglis Customer Navigator(マグリスカスタマーナビゲーター)**は、農業従事者にとって有益な意思決定をサポートし、農薬製品の選定や購入の

管理の煩雑さを軽減します。このツールは 2018 年下半期、東欧の 3 カ国において販売を開始する予定です。

- **Maglis Farm Navigator**(マグリスファームナビゲーター)は、農作業の分析や予測を行い、持続的な農業経営の最適化を可能にします。
- **Maglis Agronomic Advice**(マグリスアグロノミックアドバイス)は、農学的リスク評価と市場洞察をサポートし、シーズン中により多くの情報を得たうえで選択できるようにするツールです。このツールは 2018 年数カ国で試験導入を行う予定です。

ヘルドは次のように述べています。「BASF の農業事業は信頼性と競争力の高さを維持しており、2017 年も高収益をあげることができました。私たちは今後も、継続的な投資、慎重なポートフォリオ管理、お客様との密接なつながり、そして戦略的なパートナーシップを通して、農業ソリューション提供企業としての地位を持続的に成長させていきます。」

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF の農業事業本部について

世界の人口が急速に増加するなか、持続可能な農業と健康的な環境を作り出し維持する BASF の果たす役割はますます大きくなっています。BASF の農業事業本部は、生産者や農業従事者、害虫駆除業者などの方々と共にこの状況に対応しています。こうした方々の協力のもと、BASF は活発な研究開発パイプラインを有し、製品・サービスの革新的なポートフォリオを提供しながら、研究室や現場に専門家チームを配し、お客様の事業を成功に導く手助けをしています。2017 年、BASF の農業事業本部の売上高は 57 億ユーロでした。農業事業本部についての詳細は www.agriculture.basf.com、または各種ソーシャルメディアをご参照ください。

■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く、世界をリードする化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の 3 つを同時に果たしています。また、全世界で 115,000 人以上の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。製品ポートフォリオは化学品、高性能製品、機能性材料、農業関連製品、石油・ガスの 5 つの事業部門から成ります。2017 年の BASF の売上高は約 645 億ユーロでした。BASF は、フランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)およびチューリッヒ(BAS)の証券取引所に上場しています。BASF の詳しい情報は、www.basf.com(英語)をご覧ください。